

病児保育室「はる」のご案内

保育室

南多摩病院では、小さなお子様が病気になり、仕事の都合や傷病、出産、冠婚葬祭などの理由で家庭での育児ができない場合に、医師、看護師、保育士のもとでお子様を一時的にお預かりする病児保育室「はる」を併設しています。八王子市の委託を受け開設した 2014 年 4 月から現在までの利用者数はコロナ禍で一時的に減少したものの、延べ 4,600 名以上と多くの方にご利用いただいております。

ご利用案内

- ・開 室 日…月～土曜日（祝日・年末年始を除く）
- ・保育時間…9：00～17：00
- ・延長保育…8：00～9：00、17：00～18：00
- ・定 員…7 名



対象のお子様

生後 57 日目～小学校 3 年生で、病中または病気の回復期にあるお子様が対象となります。しかし、以下の診断を受けた場合はお預かりできませんのでご注意ください。

- × 麻疹、風疹
- × 新型コロナウイルス感染確定者



ご利用方法

ご利用前に、八王子市子ども家庭部保育幼稚園課（042-620-7248）に事前登録が必要です。原則前日予約制になりますが、空きがあれば当日受入も可能です。 ※土曜日は当日受入不可

① お子様の具合が悪い

② 医療機関を受診し「診療情報提供書・病児病後児保育連絡票」を発行してもらう

③ 病児保育室「はる」に予約申込（042-663-0111：南多摩病院代表番号）
予約受付時間…平日 8：00～17：00、土日祝 12：30～16：00

④ 予約完了！

ご利用にあたっては、お子様、保護者の方の検温・消毒等、感染予防にご協力をお願いいたします。その他、ご利用料金やお持ち物等のお問い合わせ、ご相談などはお気軽にお電話ください。

これからも、衛生的な環境の中でお子様が安心して過ごせる保育室を目指しながら、保護者の方々の子育てと就労の両立を支援してまいります。



医療法人社団 永生会



南多摩病院広報誌

令和 6 年 6 月 第 42 号

みなみ じゅう し せい
南 十 字 星

発行・編集 / 南多摩病院 広報誌作成委員会 042-663-0111（代表）

〒193-0832 東京都八王子市散田町 3-10-1



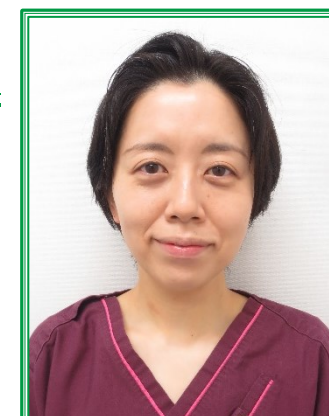
麻酔科って何をしているの？

麻酔科 生越 香子

はじめに

コロナ禍となって 5 年目を迎え、南多摩病院も日々多くの患者様の診療に携わっています。症状に合わせて該当科を受診して頂き、必要であれば手術のご提案を致します。

更に、麻酔科術前外来にお越し頂く際には、ご負担の少ない麻酔方法のご説明を致します。今回は、当院麻酔科の役割についてお話させていただきます。



麻酔科
生越 香子 医師

術前外来という場所

手術に先立ち、患者様のあらゆる情報から、手術・麻酔に耐えられる体力をお持ちかどうかを先ず判断致します。

その上で、お一人お一人の現在のご体調に合わせて、可能性のある全ての麻酔法をはじめ、一番ご負担の少ない方法をご提示し、手術当日の麻酔管理を行って参ります。

麻酔管理とは、痛みやストレスから身体を守り、全身状態を安定させることです。個々の手術によって、最善方法が全身麻酔という場合もありますし、局所麻酔を先ずご提案することもあります。

方法は多岐に渡りますので、極力分かりやすく、日々丁寧を心掛けています。



麻酔方法にはどんなものがあるの？

麻酔方法を大きく 2 つに分けると、全身麻酔か局所麻酔(硬膜外麻酔/脊髄くも膜下麻酔/神経ブロック等)に分類することが出来ます。

ただ、手術の内容によって複数の麻酔方法を組み合わせることもあります。更に、年齢・性別・体格・現在のご体調・持病の有無・服用薬剤・検査結果に基づいて、適宜麻酔法の調整を行います。



麻酔方法による影響のちがいは？

全身麻酔をご提案した際によく頂くご質問は、「全身麻酔が一番身体に負担の大きい、危ない麻酔方法ですか？」という内容です。

確かに脳・脊髄を介して全身に麻酔薬が駆け巡るので、負担が大きいと感じるのは至極当然のことと思います。麻酔方法は複数存在する上に、各々一長一短あります。利点・欠点の双方を考慮した上で、どの麻酔方法が一番患者様のご負担が少ないかを検討します。



全身麻酔

利点：血圧変動が少なく、心臓への負担を最小限に抑えられる。

欠点：呼吸補助をする為に口や鼻から管を入れるので、術後抜いた後に痰が出やすくなり、誤嚥の危険性が増す。又、安定した呼吸に戻るのに時間を要する。

局所麻酔

利点：呼吸への影響が少ない。

欠点：血圧変動が大きい。

日々術前外来で心掛けていること

麻酔科医は、手術を控える患者様に対して術前外来でしかお会いする機会はありません。ご入院されてから院内でお目に掛かることは当然多いのですが、そのような限られた時間の中で日々念頭に置いている事項があります。

それは、直接お話をすることで患者様の全身状態を正確に把握し、最善の麻酔法をご提案する事は勿論、患者様・ご家族様のご不安を最大限減らし、心穏やかに手術に臨んで頂くということです。

手術同様、麻酔は手術を受ける全ての方に、等しく多くのご負担やストレスが掛かります。不安がない筈がありません。

手術室に入ってから病棟にお帰り頂くまでの一連の流れをお話し、大まかなイメージを持って頂くだけでも、多少の心構えを持つことが出来ます。可能性のある麻酔法全てをご説明し、手術・麻酔を受けることによる急変の危険性や、管を入れたまま集中治療室に帰る可能性も必ずお伝えします。

不安を煽ってしまうのは心苦しいですが、麻酔科医として常に最悪の場合も想定し、それを回避する為の万全な準備が重要となります。

さいごに

皆様に安心して手術に臨んで頂くために私共の出来ることは限られていますが、それでも安全な医療を受けて頂くための一道標となりますように、今後も術前外来と術中の麻酔管理を精一杯務めて参りたいと思います。

また、手術室にご縁のない方でも麻酔についてご不安なこと等がございましたら、ご遠慮無くお声掛け下さい。

令和 6 年能登半島地震への医療救護活動について

救急救命士科

南多摩病院では、災害発生など有事の際に病院救急車等を活用した災害派遣活動を行っています。今回は、その取り組みについてご報告いたします。

派遣状況

令和 6 年 1 月 1 日 16 時 10 分に発生した最大震度 7 の巨大地震は、石川県能登地域を中心に建物の倒壊や火災、津波被害、土砂災害を発生させました。1, 500 人以上の方が人的被害に遭い、約 75, 000 棟以上の家屋が倒壊・浸水、水道や電気などのライフラインに被害が及んだほか、交通インフラの破綻など甚大な被害をもたらしました。

当院では、災害医療支援チーム「AMAT^{※1}」及び「JMAT^{※2}」として災害急性期以降における医療救護活動、地域医療の再建や復興を支援する目的のために派遣されました。

※1 AMAT……全日本病院医療支援班（全日本病院協会）

※2 JMAT……日本医師会災害医療チーム（日本医師会）



活動内容

令和 6 年 1 月 2 日、当院は AMAT 先遣隊（医師 1 名・看護師 1 名・救急救命士 2 名）として、病院救急車で被災地に向け出発。翌朝から富山県内医療機関、県庁等で被災情報及び医療ニーズ等の情報収集活動を開始し、同日に石川県金沢市に到着しました。石川県庁（金沢市）から能登総合病院（七尾市）へと徐々に北上した後、市立輪島病院（輪島市）に到着。AMAT 現地調整本部を立ち上げ、夜間救急診療支援を担当しました。1 月 5 日に南多摩病院 AMAT 第 2 次派遣隊と引き継ぎ、1 月 9 日まで市立輪島病院において AMAT 現地調整本部として診療支援を実施しました。

また、2 月 1 4 日から 2 月 1 7 日までは東京 JMAT 隊（医師 1 名・看護師 1 名・臨床検査技師 1 名・救急救命士 1 名）として、能登北部地域における診療所や避難所への医療支援及び医療ニーズ調査を行いました。

災害派遣された隊員から一言

情報が錯綜する災害現場において大切なことは、時間とともに移り変わる現場ニーズを常に把握することです。そのために、関係各所から迅速かつ正確な情報収集を行い、被災状況に寄り添った支援活動を遂行することが、非常に重要であると感じました。

